

# 浸水軽減へポンプ場整備

## 兵庫県加東市

### 石垣製で急な水位変化にも

念願の雨水ポンプ場が完成し、災害に強いまちづくりを推進。兵庫県加東市が進めてきた「河高（こうたか）地区安取（あとり）雨水ポンプ場整備事業」が竣工した。浸水被害頻発の同地区では、平成28年度に国土交通省の補助事業採択を受け、29年度から事業着手。ポンプ場には石垣製の全速全水位型横軸水中ポンプを2台設置し、急激な水位変化などに対



安田市長



森岡部長

応でき隣接の1級河川・加古川に強制排除することで、浸水被害の軽減を図る。

竣工記念式典が3月24日、ポンプ場敷地内で行われ、関係者ら約60人が出席。冒頭、安田正義・加東市長が「河高地区は台風などで、平成16・23・25・30年に浸水被害が発生している。施設を適切に管理し、減災力を向上させたい」とあいさつした。

来賓の森岡泰裕・国土交通省下水道部長らが「浸水被害を軽減し、住民の安全・安心な生活に貢献を」と祝辞後、建築や機械・電気設備の施

工企業に、安田市長が感謝状を贈呈。石垣真・石垣社長からは、水理体感模型の目録を贈呈した。テープカットに続いてポンプ起動が行われ、出席者の盛大な拍手に包まれた。

安取雨水ポンプ場は敷地面積1471・56平方

メートル、排水面積54・19ha、計画排水量3・2立方メートルで、ポンプ場本体や電気設備棟に、ポンプ・吐出弁戸・自動除塵機・流入水路・放流渠などを整備。事業費は5億4400万円、工期は平成29年8月31日～31年2月28日、設計施工監理は日水コン、土木は大功組、

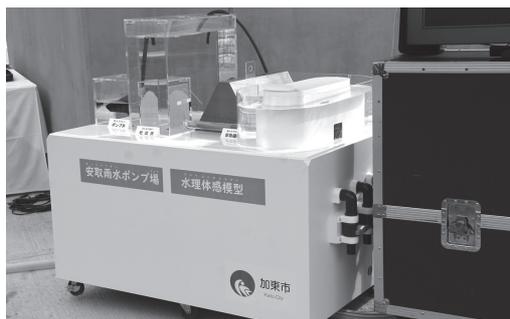
建築は横山建設工業、機械設備は石垣、電気設備は第一テクノが担当した。

石垣製の全速全水位型横軸水中ポンプ（製品名「フラッドバスター」）はφ900で、吐出力96立方メートル分・台、全揚程2・5メートル、出力75kW。日本下水道事業団と共同開発し、29年度に新技術I類に選定され、国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）にも登録されている。

加東市への設置が新設として全国4例目で、ポンプ井への定置形は元請として今回が初となる。水中ポンプはインバータを使わないシンプルかつコンパクトな設計な上、水位に合わせたポンプ運転の切り替えも容易で、注目を集めている。



安田市長が石垣社長（右）に感謝状を手渡した



石垣が贈呈した水理体感模型